

## インテリジェンス機関の関係法制

### ●警察法

第二条 「警察は、…公共の安全と秩序の維持に当ることをもつてその責務とする。」

### ●防衛省設置法（所掌事務）

第四条 防衛省は、次に掲げる事務をつかさどる。

- 一 防衛及び警備に関すること。
- 二 自衛隊（自衛隊法第二条第一項に規定する自衛隊をいう）の行動に関すること。
- 三 陸上自衛隊、海上自衛隊及び航空自衛隊の組織、定員、編成、装備及び配置に関すること。
- 四 前三号の事務に必要な情報の収集整理に関すること。

### ●内閣法

第十二条 内閣に、内閣官房を置く。

2 内閣官房は、次に掲げる事務をつかさどる。

六 内閣の重要政策に関する情報の収集調査に関する事務

第十九条 内閣官房に、内閣情報官一人を置く。

<内閣官房組織令>

内閣は、内閣法（昭和二十二年法律第五号）第十六条第二項及び第十七条の規定に基き、この政令を制定する。

（内部組織）

第一条 内閣官房に、次の四室を置く。

内閣総務官室 内閣広報室 内閣情報調査室 国家サイバー統括室

### ●国家情報会議設置法案（内閣法の一部改正）

第十六条の二 内閣官房に、国家情報局を置く。

2 国家情報局は、次に掲げる事務をつかさどる。

一 第十二条第二項第二号から第五号までに掲げる事務のうち、国家情報会議設置法（令和八年法律第▼▼▼号）第二条に規定する重要情報活動及び外国情報活動への対処並びに特定秘密の保護に関する法律（平成二十五年法律第百八号）第三条第一項の特定秘密の保護に関するもの（内閣広報官の所掌に属するものを除く。）

二 第十二条第二項第六号に掲げる事務

三 国家情報会議設置法第十二条の規定により国家情報局が処理することとされた国家情報会議の事務

四 国家情報会議設置法第七条の規定により国家情報会議に提供された資料又は情報その他の前三号に掲げる事務に係る資料又は情報を総合して整理する事務

3 国家情報局に、国家情報局長を置く。

4 国家情報局長は、内閣官房長官及び内閣官房副長官を助け、命を受けて局務を掌理する。

出典：各法令より抜粋し、波線は大門事務所で追加して作成

2026年5月14日 参議院内閣委員会提出資料① 日本共産党 大門実紀史

# 政府も党も進む「私的機関」化

**自民党**  
2018  
総裁選  
安倍政権  
安の

## 選挙情勢・石破氏発言内調が収集

20日午前。官邸で閣議などを終えた首相安倍晋三の執務室に、内閣情報官の北村滋が入った。毎週金曜日の定例報告。この日の面会は28分間だった。

国内外の情報を収集・分析する内閣情報調査室(内調)のスタッフ約400人から集約した内容を首相に報告するのが役目。北村は警察庁出身で、第1次安倍政権で首相秘書官を務めた。民主党政権時代の2011年12月末に情報官となり、在任は6年7カ月。昨年の首相動静の登場回数が1位だったことは、安倍の信頼の厚さを物語る。



### 「当地ネタ」も

衆院解散の情報が駆け巡った昨年9月中旬。内調スタッフ20人弱が全国に散った。289小選挙区のうち1人あたり10〜15区を担当

北村に報告を上げる内調を米国の中央情報局になぞらえ、「日本版CIA」と呼ぶ人もいる。政府はホームページで「内閣の重要政策に関する情報を収集・分析して官邸に報告し、政策決定と遂行を支援する官邸直属の情報機関」と説明。

「情報」のうち重要なものは内閣情報官を通じて、適時適切に総理大臣をはじめとする官邸幹部に報告される」と記している。

3月の自民大会の冒頭、約2分10秒の映像が流れた。各国首脳と握手する安倍。安倍とハイタッチして喜ぶ若者。安倍が全く出ない13年の映像に比べ、今年にはほぼ全編、安倍個人の活動報告のようだった。

党所属の都道府県議を集めた4月の研修会。憲法改正が主なテーマだったが、途中で党コンプライアンス室の弁護士が登場し、森友学園問題を追及する新聞記事を批判した。配布資料には、森友・加計問題の記事を「虚報」とした批判本があった。この問題で安倍と妻の昭恵への批判が党内で

## 首相個人と「公」境界あいまいに

### 党大会映像 ほぼ首相のPR

も上がっていた時期だ。首相と自民党総裁、そして政治家としての安倍という境目を切り分けることは難しい。だが、長期政権のもとで、その境界は一層、不鮮明になっている。

2月には、前川を招いた名古屋市の中学校の講演について、市教委に文部科学省から問い合わせがあった。当時の校長、上井靖が「まさか文科省から問い合わせがあるとはと驚いた。資料を提供して説明したが、その後も詳細な経緯を問う質問がきた。背景には、安倍の出身である細田派所属議員による同省への照会があった。違和感を覚

がある」(埼玉)。「お米のつや姫、ハワイに輸出できました」(山形)……。こうしたネタの中には、内調が集めたものがある。電話による内調独自の情勢調査の数字に分析を加え、ご当地ネタを盛り込んだ報告書と総裁を明確には区別できない

「お米のは官邸に届く。あるスタッフは当初、『我々は政府職員。自民党としてのスタフではない』と疑問を持った。だが、歴代政権で内調が選挙の情報収集をしていたことを知り、『首相と総裁を明確には区別できない』と割り切って上司の指示に従っている。残っている10年以上前の報告書は1選挙区1枚。今では多い時でA4用紙30枚になる。

内調の現在の関心事は9月の自民党総裁選。安倍の対立候補と目される元幹事長の石破茂の発言は、講演会など公式の発言に加え、非公開の場での発言も収集対象だ。政権幹部はその目的を「政権運営に本音を幅広く採り入れるため」と語るが、石破の出席が安倍には様々な形で報告されることになる。

えたと上井は「本当に文科省の本意だったのか」との疑問がぬくえない。

山口県下関市や広島市では、地元教委が前川の講演会に関する後援依頼を断った。広島県教委は理由を「権批判を繰り返してきた前川氏が前面に出ており、中立ではない」としている。

安倍本人の意図の有無とは無関係に、政府職員や自民党関係者が「安倍の私的機関」のスタッフかのように動くことは、一般社会にも影響を及ぼしつつある。

|| 敬称略  
(大久保貴裕、久保田一道)

来週から「安倍政権と官僚」のいまを考察する企画を始めます。▼総合4面▶動き出す派閥